

〔用語説明〕

【財務の状況】

流動資産・・・資産のうち、主に現金又は1年以内に現金化できるものを指します。主な例としては、現預金、売掛金、商品等があります。

固定資産・・・流動資産とは異なり、継続的に使用することを目的とする財産を指します。主な例としては、土地、建物、機械装置等があります。

流動負債・・・負債のうち、主に1年以内の短期で返済が可能な買掛金や借入金のことを指します。

固定負債・・・支払期限が1年以上経過した後に到来する負債を指します。主な例としては、返済期限が1年以上の長期借入金、1年以上先に支払われる予定の退職給与引当金などがあります。

資本・・・業務を行うための資金、また業務運営途中において、どれだけ資産があるかを示すものです。

収益的収入（事業活動収入）・・・サービス提供（事業）の対価として料金を主体とする収益が計上されています。

収益的支出（事業活動支出）・・・サービス提供（事業）に関する職員関係費、物件費、支払利息等の諸経費のほか、固定資産の減価償却費のように支出の伴わない費用も含まれます。

資本的収入・・・その効果が次年度以降に及ぶもの、つまり、サービスの提供を維持するとともに、経営規模の拡大等を図るために要する設備の整備などの資金となるものを指します。主な例としては、長期借入金などがあります。

資本的支出・・・資本的収入に対する支出であり、主な例としては、建設改良費や現在保有している施設の建設に要した償還金などがあります。

投資活動収入・・・資本的収入と同様の内容のものを指しますが、有価証券の売却などによる収入や退職給与引当資産の取崩収入も含まれます。

投資活動支出・・・投資活動収入に対する支出です。

財務活動収入・・・資金調達に係る収入、つまり、借入金を指します。

財務活動支出・・・借入金の返済を主に指します。

人件費・・・役員報酬や職員給与、賃金などに係る費用です。

管理費・・・管理部門の役員及び職員の報酬・給与等の人件費、理事会等の開催・運営のための経費等事務費、賃借料等事務所の維持管理費、光熱水費などの団体の運営に必要な基礎的な経費です。

【財務・資産関係指標】

安全性・健全性	自己資本比率 正味財産／資産合計×100	<ul style="list-style-type: none"> ・高い方が好ましい。 ・団体の資産に占める資本・正味財産の割合を示す。（売却等の目的で資産を保有し事業を行う団体は業務の特殊性から構造的に低くなる。）
	借入金依存率 借入金収入／当期収入合計×100	<ul style="list-style-type: none"> ・低い方が好ましい。 ・総収入に対する借入金の割合を示す。
	流動比率 流動資産合計／流動負債合計×100	<ul style="list-style-type: none"> ・高い方が好ましい。一般的には100%移譲が望ましいとされる。 ・1年以内に返済すべき負債に対する1年以内に資金化できる資産の比率から、団体の短期的な支払い能力を見る。
効率性	人件費比率 人件費／当期支出合計×100	<ul style="list-style-type: none"> ・低い方が好ましい。 ・事業活動に占める人件費の割合から経営の効率性を見るもの。マンパワーが業務の中心となる団体は高くなる傾向にある。
	管理費比率 管理費／当期支出合計×100	<ul style="list-style-type: none"> ・低い方が好ましい。 ・支出に占める管理費（管理部門の人件費、理事会等の運営経費等の事務費、事務所の維持管理費、光熱水費など団体の運営に必要な基礎的な経費）の割合から、団体運営の効率性を見る。
	職員1人当たり収入額 当期収入合計／職員数（役員除く。）	<ul style="list-style-type: none"> ・高い方が好ましい。 ・職員1人当たりの収益額により団体の生産性を見る。
自立性	市への財政依存度 市からの収入合計／当期収入合計×100	<ul style="list-style-type: none"> ・収入総額に占める市からの補助金、委託料等の割合から、市との関わりの度合、団体の自立性を見る。